

早渕中学校だより

学校教育目標 学び合い 認め合い 高め合う

横浜市立早渕中学校

都筑区早渕二丁目4番1号

電話045-593-8841

令和4年11月30日発行 第9号

言葉を大切に

校長 福田 昌弘

12月が近づき気温も下がってきました。新型コロナウイルス感染症の感染者もまた増加となっています。皆さんも日頃から感染予防対策をして、健康管理には気を付け、風邪をひかないように注意しましょう。

ところで先日のことです。私の近所を歩いていると、中学生くらいの男子が数人いて、突然「あっ、ごみが来た！」と言いました。「ゴミが来る」とはどういうことかと不審に思っていると、ごみの回収車がやってきたのです。この車に乗っていた人が聞いたら、どう思うでしょう。「自分のごみじゃないぞ」と怒るかもしれませんね。

皆さんは、家でこんな言葉を使っていませんか？「テレビを大きくして」とか、「頭を切ってきた」とか。テレビは大きくなりませんし、頭を切ったら大変なことになります。日常生活では、これで通じてしまうのですから不思議です。私も幼いころ母親に「母さん、ごはん」といい、母親から「母さんはごはんではありません」と怒られた記憶があります。言葉はとても重要なものです。近年、若い人の語彙力が不足している傾向があるそうです。それは、言葉を省略して話していることが多いからなのではないでしょうか。そのためかどうかはわかりませんが、作文の苦手な人が多くなっているそうです。もうすぐ3年生は進路選択のための面接練習が始まるころです。日頃から、正しい言葉を知り、省略しない話ができるよう心がけるようにすることも大切だと思います。

早渕中学校公式キャラクター



<学 年 よ り >

1年

後期に入り、授業や部活などの学校生活に慣れてきた様子が見えかけます。友達との関係も深まり、休み時間もずいぶんにぎやかになってきています。総合の時間では『生き方学習（キャリア教育）』が始まりました。1年生とはいえ、様々な職業や人生に触れて、良き目標が見つかることを期待します。

2年

総合的な学習の時間に、「未来の仕事」について考え、調査をし、班ごとにポスターセッションを行うという取組をしました。「宇宙旅行ガイド」「AI警察官」「空飛ぶタクシー運転手」など、少し前までは夢物語だった職業がたくさん紹介されていて、興味深かったです。子どもたちが生きていく未来の世界について想像すると、我々大人も、なぜかわくわくしてきます。

3年

後期中間テストが終わりました。次回の面談で進路希望を決定します。どのような進路を選択しても、「自分」に変わりはありません。「どの高校に進学するか」も大切ですが、「卒業後にどんな自分になりたいか」を明確にしましょう。そのためには、これから先の自分の人生をどう歩んでいくかを常に考えることが大切です。

7組

23日（水）～24日（木）に都筑区合同宿泊学習で愛川ふれあいの村に行ってきました。三年ぶりの開催でした。初日はあいにくの雨でしたが、体育館で班ごとにスポーツレクを行いました。みんなドッジビーやポッチャに真剣に取り組み、盛り上がりました。夕食はバイキングで、好きなものをたくさん食べました。二日目はみんなの願いがとどき、快晴でした。朝、清々しい空気の中で紅葉を見ながらのラジオ体操はとても気持ちが良かったです。都筑区の他の中学校のお友達や先生との交流、自立に向けての行動など、貴重な経験となりました。